

正倉院文書の保存環境 －保存容器を中心に

宮内庁正倉院事務所
高畑誠

正倉院・正倉院宝物について

正倉院の場所



正倉院の歴史



- 東大寺の倉庫
- 756年、大仏に献納された聖武天皇遺愛の品を収納する宝物庫
- 東大寺の儀式具の収蔵庫

正倉院のつくり①



正倉院のつくり②

南倉

中倉

北倉

2 階

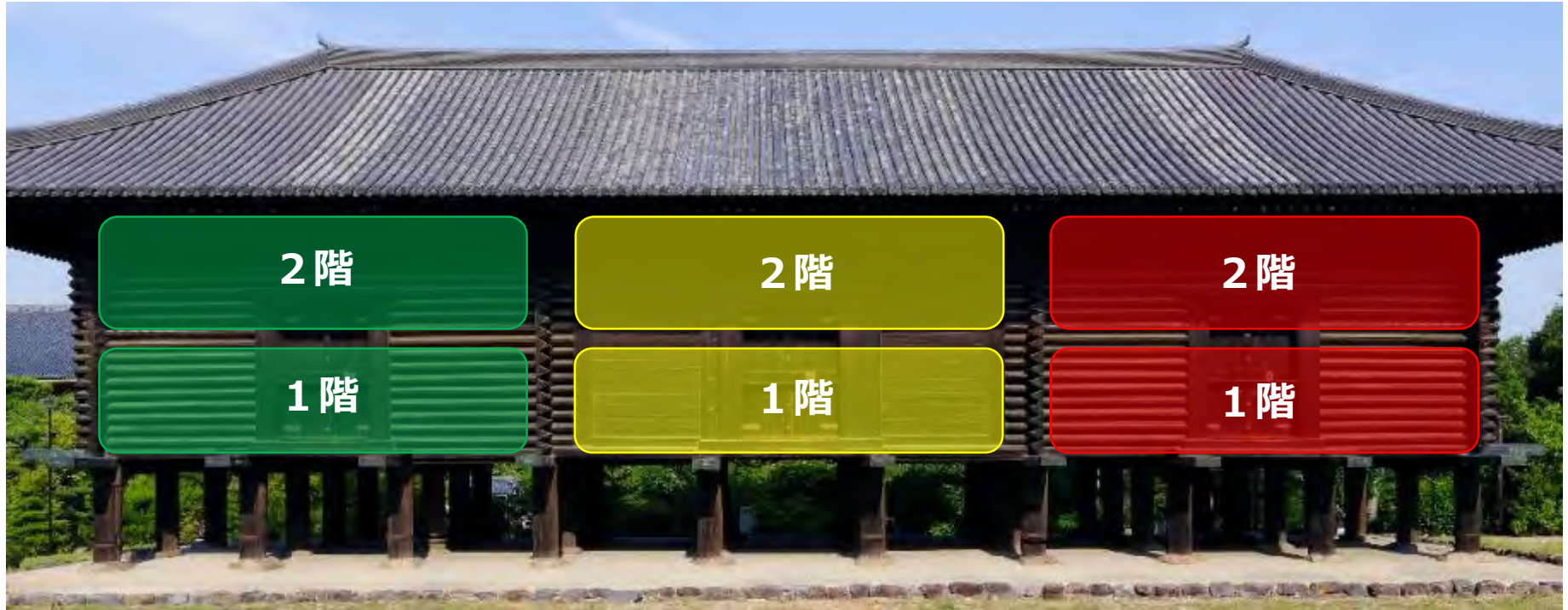
2 階

2 階

1 階

1 階

1 階



正倉院宝物の所在

南倉

中倉

北倉

東大寺大仏開眼会物品
仏具

東大寺儀式関係品

文書

聖武天皇遺愛品
光明皇后関係品
東大寺献物帳



正倉院の内部



正倉院宝物の特徴

- 由緒が明らかである。
- 8世紀のまとまった伝世品。
- 8世紀当時の唐文化を類推できる伝世品。
- 1200年以上、人々の手によって大事に伝えられてきた。



約9000点



正倉院文書について

正倉院文書とは

- 東大寺写経所の事務帳簿類。
- 奈良時代に作成された。
- 反故となった公文書の裏面（反故紙）を利用。
- 6種667巻5冊が伝わる。

正倉院文書



正倉院文書の整理

- 正修
 - ➡ 天保4～7年（1833～1836）、穂井田忠友。
- 続修、続修後集、続修別集
 - ➡ 明治8～15年（1875～1882）、内務省。
- 続々修
 - ➡ 明治27年（1894）、宮内省正倉院御物掛。
- 塵芥文書
 - ➡ 明治8年～15年（1875～1882）、内務省。

正倉院文書 正修

神祇官移 氏部省

合得根添拾陸人 宮主三人 卜部十人 直丁三人 并十五人 別日米三升 應二少 正女

二人 別

應請肅未貳拾玖斛壹斗 應貳斗玖升壹合 肅瑞肆七

石卜部 等 來十一月廿箇日公糧所請取件

故移

中宮職解 申請直丁并仕丁糧米塩布等事

合叁拾壹人 直丁三人 肅丁三人 仕丁廿人 肅丁廿人

應請米玖斛捌斗陸升 塩玖升捌合陸勺

石立丁壹拾添人料 一別五斗八升 應五合八勺

肅布壹拾肆段

石肅丁壹拾肆人料 一別一段

前來五月十九箇日料根米塩布等數如付令

錄事狀申送以解

天保七年四月十四日後上奉行舊當臣 秋末

從六位上行高橋為親良延親王

去令

從六位上行河內氏 崇壽
高少親京東丁

正倉院に伝わる紙

- 正倉院文書以外にも紙に関係する正倉院宝物が伝わる。
- 紙自体が宝物であるもの、宝物の修理などに紙が使用されているもの、など様々な用途で紙が利用されている。

正倉院に伝わる紙①



正倉院に伝わる紙②



等々……

正倉院文書の保存環境について

正倉院の内部



唐櫃

唐櫃

- 杉製。
- 正倉院宝物が納められていた。
- 奈良時代以外の唐櫃も存在。
- 現在でも保管容器として利用。

正倉院文書の唐櫃

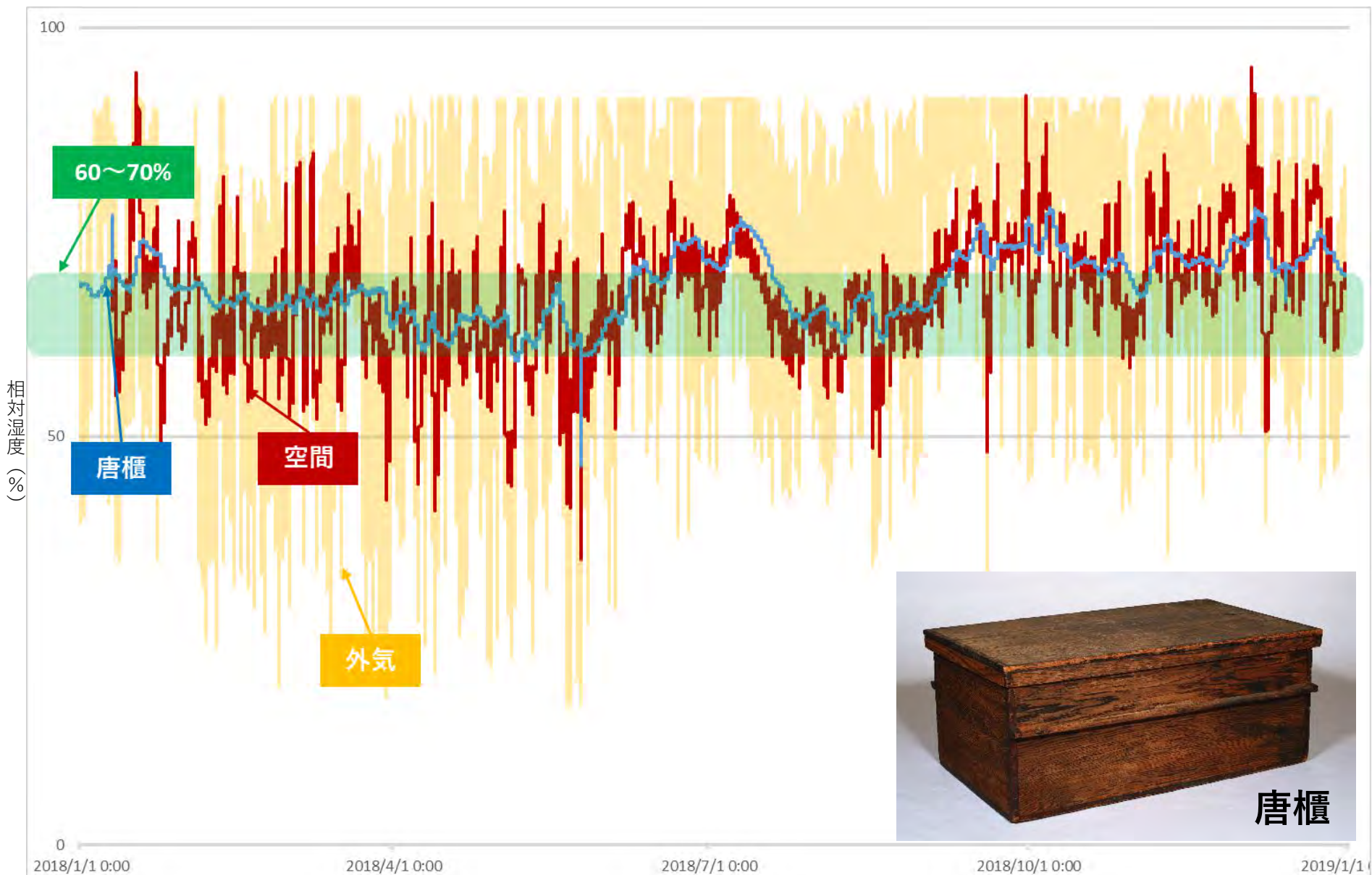


正修が納められていた赤漆櫨木小櫃

唐櫃保存の効果

- 唐櫃内の温湿度（特に湿度）変動が緩和される。
- 紫外線を遮断できる。
- 生物の侵入を防止できる。
- 宝物の転倒・落下による損傷を防止できる。

正倉内湿度变化



その他の唐櫃①



その他の唐櫃②



徳川家康が献納した唐櫃



蓋の内側に徳川家康の名が記される

正倉院宝物の保存環境

- 正倉院宝物は「唐櫃」という容器に納められ、「唐櫃」は「正倉院」という容器の中で保管されてきた。
- 正倉院は勅封管理により、保存環境の変化が少なかった。
- 正倉院内の点検にて、唐櫃の劣化が確認された際には、唐櫃は新調された。



正倉院宝物の劣化防止に繋がる

現在の倉（西宝庫）



西宝庫の保存環境

- 空調により湿度を約**60%**に維持。
- 活性炭やフィルターにて、大気汚染物質の流入を防止。
- 勅封管理のため、決まった期間以外は出入りが不可能。



正倉内の保存環境を基にする

現在の保存容器

- 宝物ごとに専用容器に納めて保存。
- 桐箱、アーカイバル容器を使用。
- 唐櫃も使用。

現在の保存容器①



正倉院古文書正修の保存容器

現在の保存容器②





西宝庫内における正倉院文書の保存状況

現在の保存容器③（桐箱）

調湿マルチガス吸着シート



現在の保存容器④

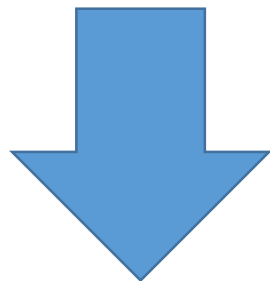


アーカイバル容器

宝物の保存作業

正倉院宝物の保存

宝物の点検



宝物の状態を確認

- ・ 損傷
- ・ 虫、カビ

保存環境の管理

- ・ 温湿度
- ・ 生物
- ・ 保存容器

点検風景①



聖語蔵経巻

点検風景②



花氈

保管容器の改善

- 修理・整理の終わった宝物を納めるため。
(修理・整理により宝物の保管姿が変わる場合がある)
- 宝物の保管状況を改善させるため。
- 容器が損傷した場合。



宝物容器の修繕、交換を行う

まとめ

- ・ 正倉院文書の保存に唐櫃（保存容器）は重要な役割を担ってきた。
- ・ 現在も専用の保存容器を活用している。